

## 平成23年2月（63回）彦機会幹事会の記録

2月に入り一気に季節が進み、3月中旬頃の暖かさと言っていたが、どっこいそうは問屋が卸してくれません。再び寒波と大雪、屋根の雪降ろし中の事故が例年より大幅に多いとか。やっぱりお水取りがすむまでは関西の春はやってこないみたいです。

- (1) 日時 : 平成23年2月13日(日) 10:00~12:15  
(2) 場所 : パナソニックリゾート大阪  
(3) 出席者 : 内片副会長、松下副会長、立入副会長、藤田常任幹事、国領常任幹事、山添常任幹事、藤浪

### (4) 議事内容

配布資料：「湖風会」平成22年度 第5回役員会レジュメ

湖風会 工学部同窓会（骨子）（1改）

第7回「ウォーキング&小旅行」湖南三山巡りと甲賀忍者屋敷

（本日は吉田会長欠席のため、山添常任幹事に議長をお願いした。）

#### 1、湖風会第5回役員会の報告について（松下副会長より）

平成23年1月29日（土）に開催された第5回役員会の報告があった。

##### 1) 「湖風会」同窓会館 建設事業について

\* 第62回幹事会議事録で既報の通り、平成24年度開設の国際教育学科の学棟に合築の形態での建設が決定されている。

\* 建築費用及び当初設置する什器・備品費で約40,000千円。これは「湖風会」保有の預金である概算50,000千円を活用し、建設資金に当てる。

\* 困難と思われるが、同窓生、関連協賛企業からの「寄付金」の獲得に努力をする。

\* 同窓会館の建設の詳細については、日置靖男氏（短大建築科卒一級建築士）に推進担当委員会の委員長になってもらい取りまとめ頂く。委員会メンバーの人選も日置氏に一任する。

\* 本件は会則に則り、事前に総会による審議と承認が必要と考える。

##### 2) 事業支援委員会関係の活動について

現状卒業予定者の就職状況が非常に厳しい。大学側も種々支援策をたて努力をされている。同窓会へも支援を要請され検討したが、経験も無く結論が出ず先送りした。

学力優秀者への表彰（金一封、記念品贈呈）制度を創設して欲しい旨の提案があったが、直ぐに出来ないし、本当に必要かという意見もあり結論に至らず今後の審議事項とした。

##### 3) 「会員名簿」データの運用提供について

個人情報保護を優先しすぎて、その活用が阻害されてきた感があったが、制限条件付きで順次「会員名簿」の運用を開始し活動に役立てるよう規定を改定する。近々HPに開示申請書も含めて掲載される予定である。

##### 4) 平成22年度事業活動助成金の清算（支払い）について

「湖風会」の平成22年度の予算として、各支部の活動助成金が1,173,450円組まれている。年度末を迎えるに当たり、活動実績がある「彦機会」に本部及び近畿支部から活動助成金の支給を検討しているとの連絡があった。（概算予定額13万円）

回答を3月10日までに求められており、幹事会で協議した結果、湖風会の会則で、会計監査は支部の会計にも及ぶことが決められている。今回支給が検討されている助成金が、この監査でどの様に扱われるのか確認の上、受領するかを決定する。即ち、助成金はあくまで支部組織の活動を支援するもので、支給先に対し領収書の発行と、活動内容の実績報告（会計は含まず）は当然必要であるとおもわれるが、その用途は支部に任せ、証憑の提出も求められないのであれば頂くこととする。

【参考】「湖風会」会則 第6章 支部 規程を補則する細則に、  
第7条（助成金の精算）

助成金の交付を受けた支部は、各年度期間内の収支報告書を作成し本部あてに提出すると共に、剰余金ある場合には精算返金するものとする。

と定められており、「彦機会」の論理は通りそうに無いか？

これらの細則を建前論に振りかざすのでは無く、現実的に支部活動がやり易くなるように、改訂すべきではないだろうか。今後の検討課題である。

尚、テニスの集いへの助成金について松下副会長から 杉本常任幹事に意見打診されたら、テニス同好会としては頂きたいとのことであった。現状のテニスの集いの広がり、活動状況からすれば、彦機会内の同好会ではなく、湖風会の同好会として扱うべきである。

## 2、同好会活動の予定について

### ① ゴルフ同好会（世話役；立入さん）

6月11日（土）のコンペ開催を予定している。4月初旬には案内を出す。

今年は総会開催年で11月に総会が開催されるのであれば12月のコンペはパスする。

### ② ウォーキング&小旅行（世話役；国領さん）

5月10日（火）に第7回同好会行事として「湖南三山巡りと甲賀忍者屋敷」を行なう予定である。

JR草津駅集合でマイクロバスにて、忍者屋敷→善水寺→磨崖不動明王→イトウ潮（昼食）→長寿寺→タキイ農場→北島酒造→JR草津駅 のルートを予定している。

会費は7,000円。後日案内状送付予定。

### ③ フォト同好会（世話役；山添さん）

現時点では未定。

## 3、会社訪問（工場見学会）

立入副会長のお世話で、㈱イシダ 滋賀事業所（本社；京都）を見学することを計画する。㈱イシダは1893年創業の計量器メーカーで、自動計量システム、計量・包装・ラベル貼付システム、計量自動化周辺機器、POSなどを製造・販売されている。

第1候補7月7日、予備日7月14日で日程調整する。

県大就職担当杉野氏及び、県大学生にも参加を呼びかける。

㈱イシダ 滋賀事業所；滋賀県栗東市下鉤 959番地の1、<http://www.ishida.co.jp/>

## 4、工学部同窓会設立について（国領常任幹事より）

\*彦機会（内片・山添・松下・国領・青木（杉本））及び化学科の湖気会（林・長谷・篠田）で設立準備チームを結成し、2ヶ月に1回の割合でミーティングをしている。

\*工学部同窓会という呼び名を「工学部学友会」という名を通称名に使うことを提案し、了承を得ている。これは活動が卒業生のみではなく、卒業生＋現役学生＋教職員をセットとして運営していくべきであるという考え方から来ている。

（同窓会費は学生の入学時に終生会費として徴収しており、学生も会員であるとの解釈に繋がる）

\*イメージとしては彦機会に化学・県大工学部を加え Version up したものと考えている。

\* 設立の目的は、県大工学部卒業生・在校生・教職員、元短大及び彦根工専の機械・紡織・化学・染色科の卒業生・教職員の交流と親睦を図り県大工学部の発展に寄与すると共に彦根工業会・彦機会・湖気会・県大同窓会（工学部）の受け皿を目指す。

その目的達成の手段として、

- 会員と県大工学部との連携推進      工学部学友会のPR  
現役卒業生の大学での講演  
工学部学友会での県大先生の講演  
卒業会員の大学訪問
- 会員相互の交流・親睦の推進      同好会のPR  
学友会の広報活動  
学年幹事（会員名簿）の維持
- 県大工学部の活動支援      会社訪問の実施  
先輩が働く会社との情報の交換  
（含む求人・求職情報）
- その他目的を達成するための事業      地域との連携

\* 彦機会の過去 10 余年の活動実績・経緯を大事にしていきたいと考えている。このことから学年幹事の位置づけは非常に大きいと考えている。

\* 会則制定、役員候補者の人選・根回し、学年幹事の人選、会員名簿の作成・管理など設立に必要な作業を進め、本年 11 月の彦機会総会に併せて、設立総会を行ないたい。

\* 彦機会総会（併せて工学部学友会設立総会）を 11 月 20 日（日）で予定する。

\* 内片副会長に田頭顧問とのコンタクトを取っていただき、本案の説明を行ないたい。

以上。

- 次回幹事会      日時： 平成 23 年 3 月 13 日（日）10:00～  
場所： パナソニックリゾート大阪  
議題：      • 平成 22 年度の活動実績のまとめと反省  
             • 平成 23 年度の活動計画（案）検討  
             幹事会の年間日程、総会の準備日程・内容、同好会（カラオケ・  
             フォト）計画等の検討  
             • その他